

平成 16年 3月期 第 3 四半期業績の概況(連結)

平成 16年 1月 29日

上 場 会 社 名 大日本製薬株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 4506

本社所在都道府県

(U R L <http://www.dainippon-pharm.co.jp>)

大阪府

代 表 者 取締役社長 宮武 健次郎

問 合 せ 先 責 任 者 広報室長 廣瀬 徹

TEL (06) 6203 - 1407

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計 : 無
年度における認識の方法との相違の有無

2. 平成16年 3月期第3四半期業績の概況 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 12月 31日)

(1)売上高

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示

	百万円	%
16年 3月期第3四半期	129,766	-
15年 3月期第3四半期	-	-
(参考) 15年 3月期	172,161	

(注) 1 . 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載を省略しております。

2 . パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しておりますが、前年同四半期決算を行っていないため記載を省略しております。

[売上高に関する補足説明]

当第 3 四半期(平成15年 4月 1日から平成15年12月31日まで)の売上高は1,297億 6 千 6 百万円となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりです。

医薬品事業：消化管運動促進剤「ガスマチン」、持続性抗アレルギー剤「エバステル」、末梢循環改善剤「プロレナール」、抗てんかん剤「エクセグラン」及び経口血糖降下剤「グリミクロン」など利益貢献度の高い主力品を最重点品目とし、マクロライド系抗生物質製剤「クラリシッド」及び経腸栄養剤「エンシュア・リキッド」を中心に販売に努力いたしました結果、売上高は901億 1 千 5 百万円となりました。

動物関連事業：犬系状虫症予防剤「カルドメック」、抗菌性化学療法剤「ビクタス」等の動物用医薬品及び犬猫用特別療法食等を中心に販売に注力いたしました。前期に田辺製薬株式会社より譲り受けました動物薬事業の製品群も寄与し、売上高は219億 2 千 5 百万円となりました。

その他の事業：天然増粘安定剤「エコーガム」、天然調味料「アジポール」等の食品添加物、工業薬品、研究検査用資材等の販売に努めました結果、売上高は177億 2 千 6 百万円となりました。

(2)当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生しておりません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予 想 売 上 高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予 想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通 期	173,000	10,000	7,800	47	02

通期の連結業績予想につきましては、中間連結決算発表時の予想を変更しておりません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上